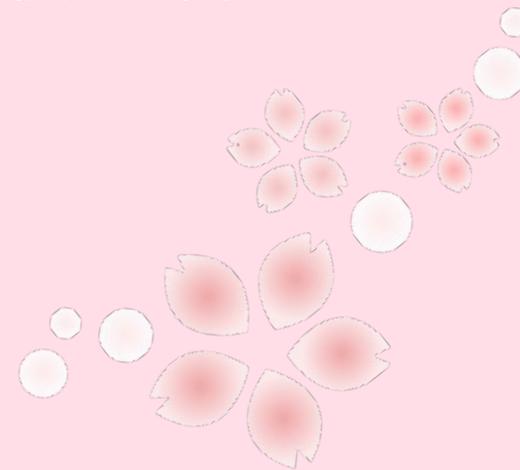


茨城県における絶滅危惧植物 ミヤマザクラの個体数調査

茨城県立下館第一高等学校 2年 梅澤 瑚子、榎戸 葉南



- 1 はじめに
- 2 課題
- 3 仮説
- 4 調査の方法
- 5 データの整理
- 6 調査の結果・考察
- 7 今後の方向性
- 8 謝辞
- 9 参考文献



1 はじめに

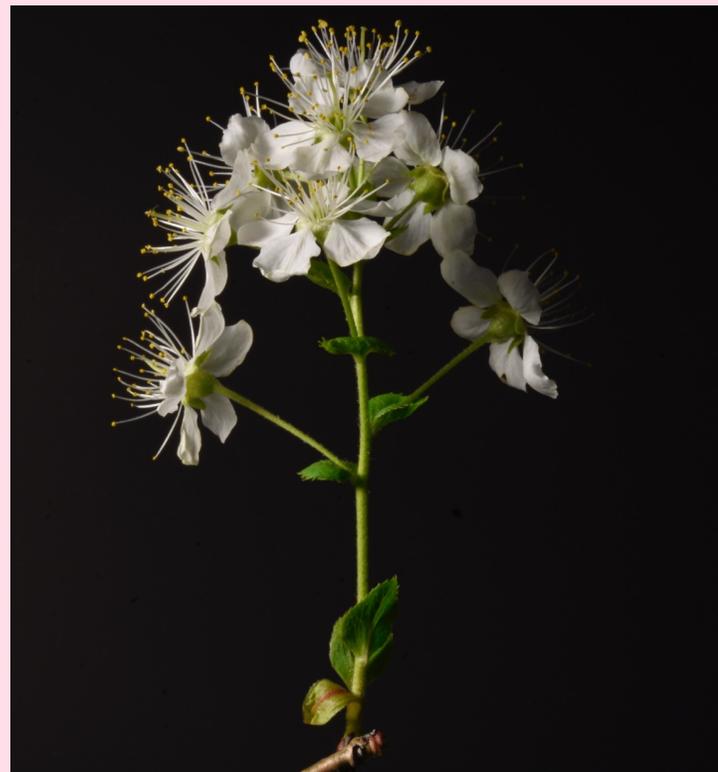
自然豊かな茨城県でできそうなSDGsの「陸の豊かさも守ろう」に関する活動を行いたいと思っていた。その時、レッドデータブックでミヤマザクラを見つけた。

ミヤマザクラとは？

- ・花は総状花序を形成
- ・花弁は切れ込みがなく、丸い
- ・花期は、5月初旬から中旬と遅い



‘染井吉野’



ミヤマザクラ

- 葉の縁は欠刻状重鋸歯で葉先は他のサクラより尖っていない
- 県内では筑波山男体山が唯一の生育地
→ 2 個体しか確認されていなかった



‘染井吉野’の葉

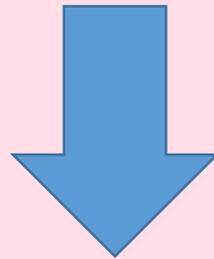


ミヤマザクラの葉

2 課題

サクラは1個体だけでは子孫を残せない
複数個体あれば子孫を残せる

つまり、、、
ミヤマザクラが複数個体見つければ個体数の維持
が可能であり絶滅の危機から救える！



筑波山でミヤマザクラの個体数や状態を調べることにした

3 仮説

筑波山にあるミヤマザクラは複数個体ある
芽生え及び稚樹も観察され更新できる状態である

4 調査の方法

自然研究路やそれより標高の高い場所で調査

<探す手順>

- ① 黒色に近く短い横筋がある樹皮を見てサクラを探す
- ② 肉眼や双眼鏡を用いておおよその葉の形を観察
- ③ 特徴が見られたら一枝採取し、葉を観察して同定
- ④ 同定できたら、GPSデータや胸高直径、樹高、状態を記録



GPS

5 データ・結果

絶滅危惧植物保全のため非公開

ミヤマザクラの個体の各データ

絶滅危惧植物保全のため非公開

6 調査の結果・考察

- 2 個体 + 見つけた20個体 計22個体確認
- 芽生えは見られなかった
- 稚樹や結実している個体は見られた
→子孫を残して繁殖する可能性がある
- 発見された実が発芽できるかは不明
- ミヤマザクラかカスミザクラかの同定が難しい個体が複数見つかった



7 今後の方向性

- 十分に調査できていない筑波山男体山の西側の調査
- 発見された個体が、今年の開花の調査
- 発芽実験

8 謝辞

茨城県自然博物館の小幡和男先生、飯田勝明先生には、活動の進め方や標本の作成等で多大なるご助言をいただいた。また、本校の筒井輝さんにも、個体の情報の記録や植物採取等でご尽力いただいた。これらの方々に、この場を借りて御礼申し上げる。

9 参考文献

- 日向岳王ら、2020、ミュージアムパーク茨城県自然博物館 第77回企画展サクラ展—まだ見ぬ桜に逢いに行く—
- 牧野富太郎ら、1982、牧野新日本植物圖鑑、p984
- 吉山寛ら、1992、原寸イラストによる落葉図鑑、p135、137、139
- 小幡和男ら、2006、ミュージアムパーク茨城県自然博物館 第38回企画展とんだネ、ついタネ、およいダネ 種子の不思議を科学する
- 吉里勝利ら、2023、新課程二訂版スクエア最新図説生物、p231

The image features a white background with a decorative border of pink cherry blossoms and falling petals. The blossoms are concentrated in the top-left and bottom-right corners, with individual petals scattered throughout the scene. The text is centered horizontally and vertically.

ご清聴ありがとうございました。